

<p style="text-align: center;"> <small>国 賜</small> 社会福祉法人財団済生会支部埼玉県済生会加須病院 </p>			
文書名	院内感染防止対策マニュアル E-3：標準予防策の実際		
文書番号	感対-共手-マニュアル E-3-1-220601	ページ	1 / 2

E-3：標準予防策と感染経路別予防策の実際

標準予防策(全患者共通)		
保護用品	手指衛生	手指衛生 5 つのタイミングで実施する(C-2 参照) 手洗いや薬液により手荒れがある場合は、ハンドクリーム等でケアをする
	手袋	血液、体液、排泄物で汚染される危険がある時に着用する 清拭、陰部洗浄、オムツ交換、吸引、排液処理などの実施時に着用する 手袋を外す時は手袋の内側を外に出すようにして外す 使用後の手袋は感染性廃棄物に捨てる 手袋をはめた手で他(ドアノブ、電話、コンピューター等)に触れない 手袋を外した後は必ず手指衛生を行う
	マスク・ゴーグル	体液、湿性生体物質が飛び散って、眼や鼻、口を汚染する可能性がある時に着用する 捨てる時以外は顔から外さない マスクは紐の部分のみを持ち、廃棄物用段ボールに捨てる ゴーグルは汚染した場合のみ廃棄する
	エプロン・ガウン	血液、体液、分泌物、排泄物などで衣類が汚染される可能性がある時に着用する 患者ごとに使用し、手袋に準じて捨てる
	食器	通常の熱処理で可能(そのまま返却)
患者関係	衣類	洗濯は患者又は家族が行う 血液、体液、排泄物がついた衣類は、洗濯するまでの間はビニール袋に入れて保管する
	リネン	シーツ交換時、使用後のリネンは床に置かず、ランドリーボックスに入れる 感染症が判明している患者のシーツ交換は最後に行う 汚染されていない患者のリネンは、そのままランドリーボックスに入れる 血液、体液、排泄物がついたリネンは、そのままビニール袋に入れて、病棟名と汚染名を明記し、しっかりと口を縛り、ランドリーボックスに入れる 感染症が判明している患者に使用したリネンはビニール袋に入れて、病棟名と疾患名を明記し、感染専用ランドリーボックスに入れる
	清拭タオル	タオルを患者の所に持って行く時は、ビニール袋に入れて持って行く 使用後のタオルは洗面所にあるランドリーボックスへ入れる 洗面器はできるだけ患者本人のものを使用する 血液、体液、排泄物がついたタオルは、そのままビニール袋に入れて病棟名と汚染名を明記し、しっかりと口を縛り、ランドリーボックスに入れる 感染症が判明している患者に使用したタオルは、ビニール袋に入れて、病棟名と疾患名を明記し、感染専用ランドリーボックスに入れる
	排痰ティッシュ	患者のベッドサイドでビニールに集めた後、一般可燃ゴミとして破棄する
	オムツ交換	施行時は手袋を着用する 使用後のオムツは床に置かず、オムツ専用ダンボールに捨てる 血液、体液が付着したオムツは感染性廃棄物に捨てる
	トイレ	トイレは毎日清掃する 患者の使用中のポータブルトイレは、排泄物を処理して洗浄する 使用しなくなったら、洗浄消毒し乾燥させる 尿器、便器は十分に水洗いした後、0.01%次亜塩素酸ナトリウム液で 1 時間以上消毒し、水ですすぎ十分に乾燥させる
	尿器・便器	十分に水洗いした後、汚物室に設置しているペットパンウォッシャーで洗浄後、乾燥させるか、次亜塩素酸ナトリウム液に1時間浸漬後、乾燥させる 陰洗ボウルは患者ごとに交換し、ベッドパンウォッシャーで洗浄後、乾燥させる
	浴槽	入浴後、清掃し乾燥させる
	体温計	一人の患者が使用するごとにエタノール消毒を行う
	血圧計・聴診器	一人の患者が使用するごとにエタノール消毒を行う
	ゴーグルベースン	ゴーグルベースンにはあらかじめビニール袋をかけ、汚染しないように留意する ゴーグルベースンが直接汚染された場合は、0.01%次亜塩素酸ナトリウム液で 1 時間以上消毒し、水ですすぎ十分に乾燥させる
	病室	日常の清掃は 1 日 1 回行う 環境を汚染する可能性のある患者は個室で管理する

<p style="text-align: center;"> <small>国 賜</small> 社会福祉法人財団 済生会支部埼玉県済生会加須病院 </p>			
文書名	院内感染防止対策マニュアル E-3：標準予防策の実際		
文書番号	感対-共手-マニュアル E-3-1-220601	ページ	2 / 2

看護関係		<p>体液以外による汚染には清掃用洗剤を用いる 体液などで汚染された場合、汚れを取り除いた後にエタノール又は、0.5%～1%次亜塩素酸ナトリウム液で清拭(どちらも2度拭き)し乾燥させる</p>
	移送	通常の移送を行う
	手術部位・無菌操作部位	<p>手術日前日シャワー浴又は清拭をし、必要時にはオリーブ油を使用して臍部をきれいに する 手術直前デスポサージカルクリッパー(電気かみそり)をしようして手術部位の除毛を行う 手術後創部は原液の10%ポピヨノード液を使用する イソジン液は包交車のセルポンジに必要量だけ入れて使用する 使用したガーゼは廃棄用段ボールに捨てる 鑷子や縫合セットなど金属類は、十分汚れを洗い落とし、ビニール袋に入れていれて中 材に出す(返納は9時、15時の2回)</p>
	回診・ガーゼ交換	<p>患者を直接介助する看護師と無菌操作を実施する看護師は別にする 病室内に汚染缶を持ち込まない 回診の順序はより清潔操作を必要とする患者から開始し、感染症患者は最後に行う 一処置一手指消毒を徹底</p>
	気管内・口腔内吸引カテ	<p>患者一人ごとに専用容器を用いる 吸引用ボトルは患者ごと1日で破棄する 吸引用カテーテルは1回ごと使い捨てとする 吸引用の塩ビ管は汚染の程度によって日勤帯に交換 吸引用カテーテル給水用のボトルは日勤帯で交換</p>
	挿入カテーテル	<p>尿道留置カテは閉鎖式のため膀胱洗浄せず、汚染時は一式交換 廃液を回収するときは回収口をアルコール消毒 N/Gチューブ、Gボトルは消毒や再利用をせず、廃棄用段ボールに捨てる</p>
	注射部位	<p>採血、注射、点滴等の処置を行うときは必ず手袋を着用 針捨て容器を持参し針はリキャップせずに廃棄する 注射器、点滴ボトル、血液汚染物は廃棄用段ボールへ捨てる</p>
処置室・ナースステーション	<p>清潔操作を行う処置台のうえなどは除菌クロスで清拭 棚やドアノブは水拭き 床は清掃</p>	
包交車・ストレッチャー	<p>包交車は除菌クロスで清掃 ガーゼ交換前後は手指の消毒 ストレッチャーは使用後雑巾拭き、ほこりがかからないようシートをかけておく 使用したトイレは洗浄消毒乾燥</p>	